

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H23実績	H24実績	H25実績	H26計画
① 玉名市公民館支館長育成事業	支館長会議・研修会を開催する。	研修会実施回数	回	4	4	4	4
② 玉名市公民館支館活動推進事業	公民館支館運営のために委託料を支出し、活動支援を行う。	委託料交付団体数	団体	21	21	21	21
③							
④							
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H23目標	H24目標	H25目標	H26目標
			H23実績	H24実績	H25実績	
1 支館独自事業実施回数	自主活動(スポーツ・文化事業)実施回数	回	61	63	66	71
			65	64	67	
2 支館活動参加人数	支館活動参加延べ人数	人	13,000	13,000	13,000	13,000
			12,816	11,651	13,038	

《事務事業の評価》

評価項目	評価の視点	評価	評価の説明	
妥当性 (判定) A	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	事業を廃止した場合、支館活動や研修等の実施が難しくなり、地域コミュニティの醸成や地域リーダー育成に支障が出る。	
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、役割が薄れていないか。		
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。		
有効性 (判定) B	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。		文化事業や特色ある地域づくり事業の積極的な実施を促すことで、更に成果の向上が期待できる。
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。		
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。		
効率性 (判定) B	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	支館委託料については、今後人口が減少していくため、積算基礎である人口割及び均等割の単価の見直しを検討する。	
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。		
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。		
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。		
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。		

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	公民館支館は、地域コミュニティの醸成と地域連帯意識の形成に資する積極的な役割が期待されていることから、今後も引き続き事業を継続していく。「学び」を通じた地域づくり・担い手の育成の場として、支館は地域内の様々な団体と連携し、地域づくりの一翼を担っていく必要がある。
昨年からの見直し・改善状況【32】	特になし

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	公民館は、地域の人々の学びを通じた人づくりの場であり、また、地域コミュニティの構築や担い手づくりに大きな役割を果たさなければならないと考えている。引き続き、行政側からのい支援や情報提供、学習会や研修会等を継続して行っていくことが必要である。	評価責任者 坂本 政輝
------------------	--	----------------